2023月11月

【Mother‘s Tree Japan Quarterly Report No.11】

皆様、こんにちは！晩秋の季節となりましたが、お元気でお過ごしのことと拝察申し上げます。コロナなどの流感も予断を許しませんが、社会的な活動も対面での開催が一般的になり、私たちの各種相談やイベントもほとんどが対面で実施されております。ズームでの勉強会や打ち合わせ会もすっかり定着し、全国にいる外国人女性が相談できるようになっています。
さて、相談活動もNPO開設以来既に2,000件を超え、イベント回数も有に100件を超えております。引き続きこの３か月間でも取材依頼に接し、直近では読売新聞やYahooニュースでも取り上げられ、外国人女性のサポートについての関心の高さがうかがえます。一方では、NPOの法令・定款に則ったガバナンス遵守（管理運営・整備状況）をチェックする動きが見られ、当NPOも約１か月間「公益財団法人日本非営利評価センター」独自の幅広い基準での調査と審査を受けました。この１１月に全ての項目で基準に適合であるとの結果報告を頂いております。
引き続きご支援・応援のほどよろしくお願い申し上げます。明るく楽しく健康でご活躍されますよう願っております！

理事長　坪野谷雅之

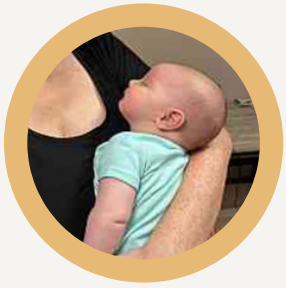
直近の具体的活動状況（8月～10月実績）

1.クラウドファンディングの成功と事業継続の御礼

おかげさまで、クラウドファンディングは、皆様の多大なるご協力のもとで成功し、226万円という目標を上回るご支援をいただきました。私たちの活動は、行政や病院だけでなく、外国人ママ当事者からの依頼を受けての寄り添い事業をしておりますが、言語や文化の壁を超えて日本人ママと同じスタートラインに立って欲しいという願いから、受益者負担をいただかない形で運営しておりますので、こうした皆様のお気持ちで運営を続けることができております。厚く感謝申し上げますとともに温かい見守りをよろしくお願いいたします。

2.通常事業の相談件数依頼の増加

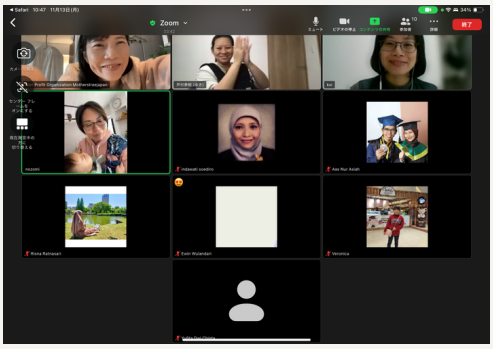
8月は猛暑のため対面での母親サロンや日本語クラスは見合わせましたが9月からは通常通り開催しています。オンラインは毎月開催し月30-45名くらいの参加者が助産師に様々な相談をして行かれます。LINEなどの相談件数や付き添い依頼は全国から急増しており、特にベトナム人女性からの相談がこのところ増えています。メンバーが手分けして寄り添い多くのベトナム人ママが無事に赤ちゃんを産むことができました。その他の傾向として、留学生の望まない妊娠とシングルマザーのサポートも増えており、日本での避妊のシステムを知らないことなどにも起因することがわかってきたので、今後避妊の情報なども伝えていく必要を感じています。



日本語サロン

子育てサロン

保育園の
書類サポート



オンライン相談会

子育て交流会

3.豊島区からの委託付き添い事業

豊島区在住の外国人家庭で課題を抱えているケースを、通訳ボランティアとしてメンバーがサポートしてくれています。「ただ通訳する」というだけでなく、それぞれの立場を慮った上での通訳をしてくれるメンバーに対して、子ども家庭支援センターからも感謝の言葉をいただき、ボランティアメンバーたちを大変誇らしく思っています。引き続き3月までこうした相談に寄り添って参ります。

4.マスジド大塚での多文化共生イベントの実施

慶應大学の野中ゼミの学生さんと共催で、イスラム教徒のママと日本人のママたちが情報交換をして子育ての知恵を持ち寄る会を実施しました。バングラディシュやパキスタンのおおらかな、昔ながらの地域の温かさの残る子育ての話を聞いて、日本人ママが涙ぐんで癒されるシーンもありました。
多文化共生子育ては、外国人女性と日本人女性の双方にとってとても有益であることを実感しています。これからもこうした活動を増やしていきたいと思っています。

5．豊島区からの委託事業「外国人住民のための子育てガイドブック作成」事事業

「外国人ママたちからの声を集めて本当に外国人家庭に役にたつ子育てガイドブックを作る」という豊島区のご提案のもとで、当法人のメンバーの力を結集して8月よりガイドブック作成に励んでいます。初めての事業で豊島区のご担当者に色々サポートいただきながら、作業は大詰めに入っています。
完成しましたらお披露目致しますので、お楽しみになさっていてください。

6．「産前産後子育てに役立つ日本語サロン」大盛況 ～オンライン開催も検討～

3月にスタートした日本語サロンは、全4回の第1クール・第2クールが11月で終了し、1月から3クール目に入ります。なかなかお産や子育てに特化した日本語クラスは全国でも例をみないため、毎回たくさんの方の参加がありイケビズの会場に入りきれないほどの賑わいです。毎回テキストも多言語のものが完成しつつあります。オンライン開催の要望も強いため、12月から開始するべく準備を進めています。

7.豊島区の各種子育てパンフレット・リーフレット翻訳納品

豊島区からの委託で、子ども家庭支援センター、育児ヘルパー事業、バースデイサポート事業のお知らせなどを6言語に翻訳しました。情報がなかなか届きにくい外国人家庭にこうした情報が届き、子育てサポートを積極的に活用してくれるように願っています。

8.外国人妊産婦に向けた日本での出産の疑問・不安に寄り添う動画制作

日本財団の助成金で、外国人ママたちからよくある疑問・質問に答えるための多言語動画を作成しています。日本でのお産の基礎知識だけでなく、困った時どう検索したらいいのか、行政のどこに相談できるのかなども盛り込んだ、現実に即した動画です。現在シリーズの1、2が完成し、3、4、5、6を急ピッチで作成しています。1、2はWEBサイトからご覧いただけますので、ぜひ周りの外国人ママさんたちに教えていただければと思います。

9.技能実習生のための「日本での妊娠出産・避妊について」の講座開催2回目

ベトナムやミャンマーの技能実習生に日本語を教えている高校生が運営するNPO団体ADOVOと、ベトナムの送り出し機関3Qとの協働企画で、技能実習に来る前の学生さんたちに、日本での妊娠出産と避妊、人生設計などについてのお話会、2回目を開催をしました。今回は一方的に話すのではなく、クイズ形式にして双方向になるように工夫しました。避妊そのものついての知識が少ないことや日本での合法的な避妊などはほとんど知識がないこともわかり、今後もこうした活動を続けていけたらと思っています。

10.地方自治体や公立病院、保育園からの各種お問い合わせの増加

豊島区以外の自治体や公立病院、外国人家族が在園している保育園などからのお問い合わせが増えています。お問い合わせ内容は様々ですが、ほとんどのケースがタブレット通訳機能を使って対応してきたが信頼関係が結べない、コミュニケーションが取れていないと感じている、などのご相談で、真剣に外国人家庭と向き合ってくださっているのを感じてとても嬉しく感じています。私たちができるご協力をしつつ、どうやったらそれぞれのパターンの中でコミュニケーションがうまく取れていくのかなどについても担当の方と話しをしています。これからもこうした活動も続けていきたいと思っています。

送り出し機関での講座

九州での
赤ちゃんの
健診付き添い

11.ベーシックガバナンス

理事長挨拶でも触れましたが日本財団の助成を受けるにあたり、NPO法人のガバナンスチェックを受けました。とても厳しい審査でしたが無事通過いたしました。2020年より無我夢中で活動してきましたので、ここで一度体制などを整え直して、さらに安心して活動を応援していただける団体を目指して参ります。

12.マンスリーサポーター制度開始

活動内容が充実し、ご支援者の皆様にしっかり見える形になってきたことを受けて、マンスリーサポーターを募っていくことにいたしました。クラウドファンディングと同じくREADYFORのプラットフォームを使ってのご支援になりますが、初日から早速支援者になってくださった方もいらっしゃり、感謝でいっぱいです。
応援、また周知のご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

13.日本財団への来年度の助成金申請完了（結果は3月頃になります）

メディア掲載

●ジャパンタイムズに取材協力しました。（2023年8月14日）
●読売新聞に取り上げていただきました。
「外国人の出産・育児を支える 先輩ママ　母国語で寄り添う」（2023年10月16日）

【今後の活動予定】（11月～1月）
通常事業以外に下記の活動・事業を進めて参ります

1.豊島区からの委託事業「外国人住民のための子育てガイドブック作成」納品
2.「としまモデル」の地方自治体への普及・情報のデータベース化
3.外国人妊産婦に向けた日本での出産の疑問・不安に寄り添う動画作成（3月完成）
4.多文化共生子育てシンポジウム（オンライン2回、対面1回企画中）
5.指差しボード新シリーズのさらなる多言語化（アラビア語制作中）
6.2024年3月3日 豊島区後援での多文化共生子育てフェスティバルに向けた準備
6.特定認定NPO取得に向けた体制づくり

事務局より

8月のクラウドファンディングでは皆様に多大なるご協力をいただき成功することが来ましたことを最初に改めて心より御礼申し上げます。8月から10月までは、通常の活動に加えてクラウドファンディング、各助成金の中間・終了報告などが続き、息をつく暇もありませんでしたが、外国人メンバーたちがそんな事務局の忙しさをカバーするかのように自発的に、そして、本当に心温かい寄り添いをしてくれました。
また、ガイドブックや動画制作なども、コアメンバーたちが動いていい形でプロジェクトを進めてくれ、組織がいい形で育っていることを感じて、とても嬉しい数ヶ月でした。
オンライン寄り添いは需要が広がり、北海道、秋田、名古屋、大阪、京都、九州など各地からの依頼が相次ぎました。どんなシーンでも見事に対応してくれる外国人メンバーたちのおかげで、無事に産まれた、という嬉しい声が毎月聞かれます。時に夜中までサポートしてくれ、産後の転院などの急なサポートにも笑顔で応えてくれるメンバーたちの報告を聞いていると胸が熱くなります。事務局はいつも大忙しですが、こうしたお母さんたちの笑顔、メンバーの活躍を見るとどんな時も力が湧いてきます！これからも応援よろしくお願いします。